

● 歴史的分野 学習指導計画作成資料（第3学年）

※歴史的分野第3学年の教科書での時数 30 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 6 時間

(第3学年の社会科全体の時数 140 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 25.3 時間)

第5編 近代の日本と世界

第2章 二度の世界大戦と日本

配当 16 時間

うち第3学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 2 時間

第1節 第一次世界大戦と戦後の世界

累計時数	教科書ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
79	204 ～ 207	【導入】 ・「二度の世界大戦と日本」の特色を探っていく ・地図で見る世界の動きー第一次世界大戦の国際関係	○戦前・戦中・戦後の生活の変化を見て、当時の日本のようすをイメージし、それと同時に第5編第2章の課題を明らかにすることができる。 ○大正・昭和時代における日本の流れや、第一次世界大戦・第二次世界大戦期の世界の動きをおおまかにとらえることができる。	・導入ページ (P. 204～205) に掲載されている写真を見て、「読み取ろう」の活動に取り組み、昭和時代前半の日本の衣・食・住の変化を確認し、当時の世の中のようすをイメージする。 ・歴史地図 (P. 206～207) に付した「読み取ろう」の活動に取り組むほか、年表を使って小学校の既習内容を振り返り、これから学ぶ時代をおおまかにとらえる。 ・教師用指導書付録 CD-ROM に収録されたワークシートも活用する。 【1 時間】
80	208 209	1 第一次世界大戦 ・初めての世界大戦 ・長引く戦争と総力戦 ・ロシア革命	○第一次世界大戦が起きた背景や原因を考察し、戦争があたえた影響について理解することができる。 ○ロシア革命の起こった背景および成立過程を、第一次世界大戦と関連づけてとらえることができる。	
81	210 211	2 日本の参戦と大戦景気 ・日本の参戦と二十一か条の要求 ・日本経済の飛躍 ・シベリア出兵と米騒動	○第一次世界大戦が始まり、日本は連合国からの軍需品の注文などによって好景気になったことを理解することができる。 ○第一次世界大戦の好景気は物価上昇を招	

			き、国内の物不足や急激な物価上昇によって「米騒動」という民衆の激しい動きを起こしたことを理解することができる。	
82	212 213	3 大戦後の世界とアジアの民族運動 ・ベルサイユ条約と国際連盟 ・アジアの民族運動 ・ワシントン会議と日本	○第一次世界大戦後に締結されたベルサイユ条約の内容と、その後の世界情勢について理解することができる。 ○アジア・アフリカの国々で民族自決を求める運動が広まった流れと、欧米諸国を中心とした民主主義進展への流れを理解することができる。	

第2節 大正デモクラシーの時代

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
83	214 215	1 政党政治の発展 ・護憲運動と政党内閣 ・普通選挙の実現 ・政党内閣と国際協調と軍備縮小	○藩閥政治への反発や、米騒動などの社会運動を背景に、国内で民主主義の思想や運動が広まったことを理解することができる。 ○欧米における普通選挙の実施やデモクラシーの風潮のなかで、普通選挙の実施が求められ、政党内閣が成立していったことを理解することができる。	
84	216 217	2 社会運動の広がり ・立ち上がる労働者や農民 ・差別からの解放を求めて ・社会運動への政府の対応	○第一次世界大戦のころから、護憲運動や米騒動の経験、労働者の地位の向上、ロシア革命の影響などにより、さまざまな社会運動が広まったことを理解することができる。	
85	218 219	3 都市化の進展と大衆文化	○第一次世界大戦後、急速に都市化が進	

		<ul style="list-style-type: none"> ・都市的生活 ・文化の大衆化 	<p>み、生活の洋風化が進んだことを理解するとともに、関東大震災が東京を大きく変貌させたことを理解することができる。</p> <p>○ラジオ放送などにより、文化の大衆化が進んだことを理解することができる。</p>	
-	220 221	<p>【歴史を掘り下げる】 よみがえった東京駅—近代化産業遺産を訪ねる—</p>	<p>○近代化産業遺産を見たり、調べたりすることを通して、先人がどのように日本の近代化のために努力したのかを理解することができる。</p> <p>○近代化産業遺産の保存などを通して、日本の文化遺産に関する関心を高めるとともに、文化遺産の大切さを理解することができる。</p>	

第3節 世界恐慌と中国との戦争

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
86	222 223	<p>1 世界恐慌と各国の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌の衝撃 ・ファシズムの台頭 ・ニューディール政策とブロック経済政策 	<p>○アメリカで起こった不景気が、世界にあたえた影響について説明することができる。</p> <p>○世界恐慌への各国の対応が、世界の協調体制を台無しにしたことを理解することができる。</p>	
87	224 225	<p>2 日本の恐慌と東アジア情勢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の恐慌 ・統一を進める中国と日本の対応 ・政党政治の危機 	<p>○日本における世界恐慌の影響と国民の状況を理解することができる。</p> <p>○日本国内の社会主義運動や東アジアの民族運動の高まりに、政府がどのように対応したかを考えることができる。</p>	

88	226 227	3 日本の進路を変えた満州事変 ・満州事変 ・強まる軍部の力	○日本が不況や社会問題の解決を中国への進出に求め、軍部が力を強めた経緯を理解している。 ○満州事変を契機にして軍国主義が強まる動きを整理し、国際社会で孤立していった過程を説明することができる。	
89	228 229	4 日中全面戦争と戦時体制 ・中国との全面戦争 ・強まる戦時体制	○日中戦争へと発展していった経過と、それに対する中国の抵抗を理解することができる。 ○日中戦争の長期化にともない、日本国内では、戦時体制が強化されたことを理解することができる。	

第4節 第二次世界大戦と日本

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
90	230 231	1 第二次世界大戦の始まり ・再び起きた世界大戦 ・ドイツの占領政策 ・枢軸国と連合国	○第二次世界大戦の始まりと経過を理解することができる。 ○大戦の性格が、ファシズム対反ファシズムの戦いになったことを説明することができる。	
91	232 233	2 アジア・太平洋での戦争 ・日本の南進 ・日米交渉の経緯 ・太平洋戦争の始まり	○日本が東南アジアへ侵攻し、太平洋戦争を始めた理由と経過を理解することができる。 ○日本に占領されたアジア・太平洋地域のようすを説明することができる。	
92	234 235	3 戦時下の国民の生活 ・苦しくなった国民生活 ・本土空襲 ・戦場となった沖縄	○戦争にすべてが動員・徴用されていくなかで、変化していく国民生活のようすや、本土の空襲や戦場となった沖縄のようすなど、その悲惨	

			な状況を理解することができる。	
93	236 237	4 平和へのあゆみと戦争の傷あと ・イタリアとドイツの降伏 ・ヒロシマとナガサキ ・日本の降伏	○人類全体に大きな惨禍を及ぼした第二次世界大戦終結までの経過を理解することができる。 ○原爆投下の理由を、米ソの戦後世界における主導権争いに関連して説明することができる。	
-	238	【先人に学ぶ】 新渡戸稲造と杉原千畝	○二度の世界大戦期に国際平和などの実現に努めた先人の姿に関心をもつことができる。	
-	239	【歴史を掘り下げる】 日本人の海外移民	○日本人の海外移民の始まりと経過を理解するとともに、なぜ移民する必要があったのかを説明することができる。	
-	240 241	【でかけよう！地域調べ】 戦争遺跡を訪ねよう 大阪の空襲を調べる－大阪府大阪市－	○地域の戦争遺跡を調べることを通じて、「戦争と平和」について自分の考えをまとめ、国際平和の意義を理解することができる。	
94	242 243	【学習の活用－とらえよう！ 「二度の世界大戦と日本」の特色】 「戦争」に着目して、時代の特色にせまろう	○日本が昭和期の戦争を始めた理由について理解し、戦時の民衆がどのような態度で戦争にかかわっていたのか説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ P. 242 で年表と地図を使って学習をふり返り、日本や世界の動きの確認やできごとが起きた場所の確認の問いに取り組む。年表の確認の問いは、P. 295 で答え合わせをする。 ・ P. 243 で「戦争」に着目して、「STEP 1～2」の活動に取り組む、時代の特色をとらえる。 ・ 教師用指導書付録 CD-ROM に収録されたワークシートも活用する。 <p>【1 時間】</p>

第6編 現代の日本と世界

配当 14 時間

うち第 3 学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 4 時間

第1節 平和と民主化への動き

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
95	244 ～ 247	【導入】 ・「現代の日本と世界」の 特色を探っていこう ・地図で見る世界の動きー 第二次世界大戦後の世界	○戦中と戦後の日本の 変化を示す資料か ら、当時の日本の歩 みをイメージすると ともに、第6編の課 題を明らかにするこ とができる。 ○敗戦から現在までの 流れや、第二次世界 大戦後の世界情勢を おおまかにとらえる ことができる。	・導入ページ (P. 244～245) に掲載 されている写真を見て、「読み取 ろう」の活動に取り組み、戦中と 戦後の日本のようすを比較して読 み取り、戦後の歩みをイメージす る。 ・歴史地図 (P. 246～247) に付した 「読み取ろう」と「考えよう」の 活動に取り組むほか、年表を使っ て小学校の既習内容を振り返り、 これから学ぶ時代をおおまかにと らえる。 ・教師用指導書付録 CD-ROM に収録さ れたワークシートも活用する。 【1時間】
96	248 249	1 第二次世界大戦後の世 界と日本 ・国際連合と植民地の解放 ・日本の占領と非軍事化・ 民主化 ・民主化をめざす国民の運 動	○第二次世界大戦後の 国際社会の動きと結 びつけて、日本の戦 後の民主化と国民運 動の特色を理解する ことができる。 ○日本の戦後の民主化 の動きを第二次世界 大戦前のできごとと 関連づけて考えるこ とができる。	
97	250 251	2 平和国家をめざして ・日本国憲法の成立 ・民主化の進展	○日本国憲法と戦後の 改革の背景や内容か ら、日本がどのよう な国づくりをめざし ていたかを説明する ことができる。	
98	252 253	3 占領下の日本と国民の 生活 ・戦後の生活と国民の苦難 ・生産の再開と経済の復興	○日中戦争から太平洋 戦争まで続く戦争 が、国民生活と日本 経済に与えた影響 と復興に向けた努力 について説明するこ とができる。	

99	254 255	【とらえよう！時代の転換】 戦後の教育制度の改革から、近代から現代への転換を考えてみよう	○戦後の教育制度改革の特色とその背景を理解し、教育制度改革を通して個人の人權が尊重される民主的な社会がめざされたことを説明することができる。	・ P. 254～255 の「STEP 1～3」に取り組み、戦後の教育内容の特色をとらえ、戦後の日本ではどのような社会をつくることがめざされていたのかを考え、まとめる。 ・ 教師用指導書付録 CD-ROM に収録されたワークシートも活用する。 【1 時間】
100	256 257	4 冷たい戦争と世界の動き ・ 対立するアメリカとソ連 ・ 新しい中国と朝鮮戦争 ・ 平和をめざすアジア・アフリカ	○第二次世界大戦後の世界が、米ソ両陣営の対立である冷戦状態であることを理解することができる。 ○アジア諸国の独立と朝鮮戦争、その後の平和共存の動きなどに気づくことができる。	
101	258 259	5 国際社会への復帰 ・ 占領政策の変化 ・ 主権と国交の回復 ・ 国際機関への参加	○日本の国際社会への復帰を冷戦と結びつけて説明することができる。 ○復帰にかかわる条約が、今日まで影響をあたえていることを理解することができる。	

第 2 節 国際化する世界と日本

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
102	260 261	1 高度経済成長 ・ 経済の高度成長 ・ 高度成長期のくらし ・ 高度成長のひずみと環境問題	○急速な高度経済成長によって国民生活が豊かになったいっぽうで、過疎や過密、ごみ問題、公害問題などが社会問題となり、深刻になったことを理解することができる。	
103	264 265	2 日本をとりまく国際関係 ・ 新しい安保条約と 55 年体制 ・ 日韓基本条約 ・ 返還運動の高まりと沖縄返還 ・ 中国との国交正常化	○日本が課題を乗り越えて、同じ資本主義国とのつながりを強めていく過程を理解することができる。 ○韓国や中国などアジアとの関係から、日本の外交政策を説明するとともに、韓	

			国・中国との今日的課題について考えることができる。	
104	266 267	3 多極化する世界と日本 ・冷戦の終結とその後の世界 ・躍進するアジアと日本 ・続く紛争と地域統合の新しい動き	○資料から冷戦の終結など、国際社会の変化のあらましを理解することができる。 ○冷戦終結後、紛争が無くならないいっぽうで、新しい国際秩序の構築が図られていることを理解することができる。	
105	268 269	4 先進国日本の課題 ・経済大国となった日本 ・55年体制の終わり ・災害にみまわれた日本	○日本の石油危機後の経済成長の推移をつかみ、日本が経済や社会の構造改革の必要に迫られ大きく変化したことを理解することができる。 ○高度経済成長後の日本の政治的・経済的・社会的な課題をつかみ、その解決について考えることができる。	
106	270 271	5 21世紀と日本の役割 ・国際社会と日本の役割 ・解決をせまられる国内課題	○国際社会における日本の役割と日本への期待が大きくなっていることを理解することができる。 ○現在の国内問題を認識し、その解決について考えることができる。	
-	272 273	【歴史を掘り下げる】 アイヌと沖縄の近代と現代	○アイヌ民族や沖縄の人々と他地域に住む人々との歴史のちがいをつかむことができる。 ○アイヌ民族や沖縄の人々のきびしい歴史的背景から、この地域に住む人々の思いや願いについて理解することができる。	
-	274 275	【先人に学ぶ】 災害の歴史に学び、私たちの未来に活かす	○災害の歴史から、災害への備えを考えることができる。	

			○災害の歴史を学び、私たちが未来に活かすために、できることは何かを考えようとする態度を育むことができる。	
-	276 277	【でかけよう！地域調べ】 地域の環境の歴史を調べよう 公害克服の歴史を調べよう 福岡県北九州市ー	○北九州市の公害を克服してきた歩みについて、説明することができる。 ○また、その歩みを生かしたさまざまな取り組みを通して、未来の北九州市の姿について幅広く考えることができる。	
107	278 279	【学習の活用ーとらえよう！「現代の日本と世界」の特色】 「復興と成長の源」に着目して、時代の特色にせまろう	○戦後日本の成長は、多くの人々が社会にかかわったことによって達成されたことを理解したうえで、よりよい社会を築くために私たちに求められる態度を考察し、説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ P. 278 で年表と地図を使って学習をふり返り、日本や世界の動きの確認やできごとが起きた場所の確認の問いに取り組む。年表の確認の問いは、P. 295 で答え合わせをする。 ・ P. 279 で「復興と成長の源」に着目して、「STEP 1～3」の活動に取り組む、時代の特色をとらえる。また、これまでの学習をふまえて、これから築いていきたい時代について自分で考え、まとめる。 ・ 教師用指導書付録 CD-ROM に収録されたワークシートも活用する。 【1 時間】

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
108	280	歴史を学んで	○歴史の学習で得られた知識や考え方を生かしながら、私たち一人一人が歴史をつくっていく主人公なのだという自覚と意欲を育むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ P. 280 の「歴史を学んで」の文章を読み、我が国の歴史の大きな流れをふまえて、これからも平等で平和な社会を築いていくことの重要性について考え、まとめる。 【1 時間】